

予習課題

以下の年表および別添資料を読み、大東亜共栄圏構想がどのような国際秩序をめざし、自らをどのように正当化していたか、国際連盟 (の目指した国際秩序) と比較しつつ、考えてくる。

赤字は別添資料あり

1937 年 11 月 10 日	ヒトラーの戦争計画 ホスバッハの覚え書き
1939 年 9 月 1 日	ドイツ軍、ポーランド侵入
1940 年 4 月	ドイツ軍、大攻勢開始
1940 年 6 月 4 日	イギリス軍、ダンケルクより撤退
1940 年 6 月 10 日	イタリア、ドイツ側に立ち英仏に宣戦布告
1940 年 6 月 22 日	ドイツ・フランス休戦協定
1940 年 8 月 1 日	基本国策要綱 閣議決定
1940 年 9 月 27 日	日独伊三国同盟 署名
1941 年 1 月 29 日	松岡外務大臣 帝国議会衆議院予算委員会 「指導国」
1941 年 8 月 14 日	大西洋憲章
1941 年 12 月 8 日	対米英宣戦詔書
1942 年 1 月 1 日	連合国宣言
1942 年 1 月 22 日	東條総理大臣・帝国議会衆議院本会議 「帝国ヲ核心トスル」
1942 年	重光葵 「大西洋憲章と太平洋 (大東亜) 憲章」 (1942 年) 『重光葵手記』
1942 年 9 月 1 日	海軍調査課 「大東亜共栄圏論」
1943 年	外務省 「戦争目的委員会 (戦争目的研究会)」 外務省條約局 『昭和 18 年度執務報告』
1943 年 1 月 14 日	連絡会議 「大東亜戦争完遂のためのビルマ独立施策に関する件」
1943 年 6 月 5 日	「ビルマ独立に関する日緬条約締結要領 (案)」
1943 年 6 月 16 日	東條総理大臣・帝国議会衆議院本会議 「大東亜宣言」
1943 年 8 月 1 日	ビルマ独立 日ビルマ同盟条約
1943 年 10 月 30 日	米英ソ中、モスクワ宣言
1943 年 11 月 6 日	大東亜共同宣言
1944 年 8 月 23 日	田畑茂二郎 『国家平等理論の転換』 (日本外政協会、1944 年)
1945 年 4 月 23 日	大東亜大使会議

参考文献

- 酒井哲哉『近代日本の国際秩序論』(岩波書店、2007 年) [第 1 章]
- 松井芳郎「グローバル化する世界における『普遍』と『地域』——『大東亜共栄圏』論における普遍主義批判の批判的検討」国際法外交雑誌 102 巻 4 号 (2004 年)
- 明石欽司「『大東亜国際法』理論」法学研究 (慶應義塾大学) 82 巻 1 号 (2009 年)
- 後藤乾一「アジア太平洋戦争と『大東亜共栄圏』」『岩波講座 東アジア近現代通史 6 アジア太平洋戦争と「大東亜共栄圏」』(岩波、2010 年)
- 浅野豊美『帝国日本の植民地法制』(名古屋大学出版会、2008 年)
- 波多野澄雄『太平洋戦争とアジア外交』(東京大学出版会、1996 年)
- 波多野澄雄「『国家平等論』を越えて——『大東亜共栄圏』の国際法秩序をめぐる葛藤」浅野豊美・松田利彦編『植民地帝国日本の法的展開』(信山社、2004 年)
- 河西晃祐『帝国日本の拡張と崩壊』(法政大学出版局、2012 年)
- 等松春夫『日本帝国と委任統治』(名古屋大学出版会、2011 年)
- 山本有造「『大東亜共栄圏』経済史研究」(名古屋大学出版会、2011 年)
- 小林英夫「『大東亜共栄圏』と日本企業」(社会評論社、2012 年)
- 藤原辰史『稲の大東亜共栄圏』(吉川弘文館、2012 年)
- 安達宏昭「『大東亜共栄圏』の経済構想」(吉川弘文館、2012 年)
- 倉沢愛子『資源の戦争 「大東亜共栄圏」の人流・物流』(岩波書店、2012 年)